



ビリヤード

会場地 : 伊丹市

競技紹介

ビリヤードは、長方形の限られたスペースのテーブルの上で、手球をキュー（つき棒）で突くことによつて的球をポケットに落としたり、あるいは他のふたつの的球に当てることによつて得点を競う競技で、技術2割、精神8割と言われるほど精神力が要求されます。

ビリヤードの起源は明らかではありませんが、14～15世紀にかけてクリケットに似た屋外スポーツであったものを室内ゲームに改良し、ヨーロッパ各地で発達したといわれています。

派手な大技に注目が集まりがちですが、一つのミスが勝敗の分かれ目になることもあり、手に汗握る白熱した試合では、見る者の集中力も鍛えられるかもしれません。何と言つても一対一の勝負。相手のファールを誘う作戦やボールのポジショニングなど相手に取らせない駆け引きが見所です。



競技方法

行事ではナインボールを実施します。

から までの的球と白い手球を使用し、 から までのボールを順番にポケットに落としていき、最終的に ボールを落とせば勝ちになります。

手球が的球にあたり、その後 ボールをポケットに落とした場合と、ブレイクショット（ゲーム開始の第一打、サーブ）の時に ボールを落としても勝ちとなります。

【用具】

ポケットゲーム用ビリヤードテーブル、球を撞く「キュー」、ボールを使用

競技場の概要

【会場】

協同の苑K-maison ときめき・伊丹市立神津福祉センター^{かみつ}

この施設は、高齢者をはじめとする地域住民の「生きがいづくり」「健康づくり」を目的に運営されています。1階にときめきホール、ビリヤードコーナー、陶芸室、2階に囲碁・将棋室、趣味活動室などがあり、地域のコミュニティセンターとしても利用されています。

行事は、ときめきホールとビリヤードコーナーを使用して実施します。この行事を通じて、さらに地域の人々の交流を深めたいと考えています。



第3回全国アマチュアビリヤード都道府県選手権大会の風景